

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月29日

計画の名称	釜石市水海地区避難道路整備計画（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和03年度（3年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	釜石市												
計画の目標	釜石市水海地区については、L2クラスの津波に対する防災・減災の対策が未実施な状況であり、津波被害に対する危険度が依然として高いままであることから、住民の生命を守る避難環境の整備・改善を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	389	A	373	B	0	C	16	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	4.11	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	住民からの避難の経路となる区間の津波浸水を防止することで、水海地区の居住者の安全を確保する 安全な避難が可能となる居住者数の割合 (浸水しない道路に面する住宅の居住者数) / (水海地区の居住者数)	H31 84%	%	R3 100%
2	安全な避難環境を構築するため、避難場所までの距離・時間を短縮する 津波緊急避難場所までの移動時間 (避難場所までの距離) / (移動速度)	54分	分	8分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	釜石市	直接	釜石市	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業(水海地区)(防災・安全)	避難路整備	釜石市水海地区						373		-	
												小計						373		
											合計						373			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業担当部署（釜石市建設部建設課）で実施	事後評価の実施時期 令和6年12月
	公表の方法 釜石市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市道水海2号線の住宅地に面する区間を、最大クラス（L2：東日本大震災級）の津波で浸水しない高さまで市道の嵩上げを行う避難道路の整備、及び津波緊急避難場所に指定されている「水海集会所前避難階段工事」により整備された当該避難階段により、住民の生命を守る津波避難の環境が確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
防災に対する市民の意識醸成を図り、災害時に適切な避難行動がとれるようにするため、自主防災組織をはじめとする地域住民との連携を強化し、地域の防災力の向上を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	安全な避難が可能となる居住者数の割合（％）＝ 浸水しない道路に面する住宅の居住者数 / 水海地区の居住者数	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	津波緊急避難場所までの移動時間（分）＝ 避難場所までの距離 / 移動速度	
	最終目標値	8分
	最終実績値	8分